

## 【新見市】

### 3 校務DX計画

新見市の教育現場における DX 化を推進するため、以下の5つの重点項目を定め、校務DXを推進していく。

#### 1. クラウドサービスの活用促進

- ・教職員向けのクラウドツール導入研修の実施：校務支援システムのクラウド化や教育ダッシュボードの活用を促進し、データ連携による業務効率化の実現を目指す。
- ・次世代校務支援システムの導入（令和11年度まで）に向け、令和8年度までに検討を進める。
- ・セキュリティ対策の強化：教職員に対して、クラウドサービス利用時のセキュリティ対策に関する研修を実施し、情報漏洩のリスクを最小限に抑える。

#### 2. 校務DX推進体制の構築

- ・ICTに関するサポート体制の充実：教職員のICT活用能力向上と積極的な授業への活用を促進するため、継続して「ICT支援員」を配置する。
- ・教職員のスキル向上：外部講師や専門家による研修を実施し、教職員のスキル向上を支援する。
- ・生成AIの活用：教職員向けの生成AI活用について情報提供及び研修を実施する。

#### 3. FAX・押印の見直し

- ・行政機関・外部事業者との連携強化：行政機関や外部事業者との連携を強化し、ペーパーレス化を推進するための協定を締結していく。
- ・電子署名・認証システムの導入検討：電子署名・認証システムの導入を検討し、FAXや押印に頼らない業務体制を構築していく。

#### 4. 不必要な手入力作業の一掃

- ・校務支援システムへの名簿情報の入力については、市教育委員会から学校にデータで提供することで手入力作業を一掃して校務の合理化を図る体制を検討する。

#### 5. ペーパーレス化の推進

- ・会議資料のデジタル化：会議資料をデジタル化し、ペーパーレスな会議運営を促進する。
- ・デジタル教材の活用促進：デジタル教材の活用を促進し、紙ベースの教材の利用を減らす。
- ・保護者との情報共有強化：「保護者連絡ツール」の活用による連絡の迅速化及び紙使用削減を推進する。